

〈再 録〉

ジカルボン酸処理木材の床暖房対応フローリングとしての性能評価

岩本頼子 増田勝則

木材工業, 79 (12), 507-512 (2024)

ジカルボン酸処理材について、床暖房用床材としての利用の検討を目的に、実際に床材として敷設して性能を評価する、簡易床暖房試験を行った。

ジカルボン酸処理したスギ辺材板目板（厚さ 15mm×幅 110mm×長さ 960mm）9 体と、繊維方向にエンドマッチングした同形状の無処理材 9 体について、それぞれ厚さ 12mm の床材形状に加工、片面塗装したものを試験に供した。

ジカルボン酸処理は、コハク酸（SA）とアジピン酸二アンモニウム（DA）の配合比を 2：1、薬剤濃度を 0.8mol/L とした薬液を試験体に注入した後、乾燥し、最終加熱温度を 105℃とした。処理試験体および無処理試験体を、それぞれ 9 体ずつ床暖房ユニット上に固定して敷設し、80℃の温水を 1 ヶ月以上連続通湯した。その結果、処理によって試験体間の隙間の発生量が大幅に低減し、段差や反りも低減することが実証された。無垢のスギ板目板においても、本処理によって高い寸法安定性が発現し、床暖房用床材としての利用が期待できることがわかった。